

平成 24 年度中間事業報告

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

I 世界に開かれた県民意識の向上の推進

【目標】

県民が、世界の人々と対等で良好な関係が築けるよう意識の向上を推進する。特に、国際社会に貢献し世界をリードする幅広い視野や国際感覚を持つ次世代を育成するため、様々な事業を展開するとともに、行政や民間団体等と連携・協力していく。

【目標指数】

項目	H24(年間)	H24 前半実績(達成率)
当協会が企画する 国際理解講座数	36	23 (64%)

【事業実績】

1 多様な交流や国際理解の推進

(1)国際理解出張講座

当協会役職員等が講師となり、下記のとおり様々なテーマの講座を実施した。

- 講座名と実施回数 計 23 回(前年度同時期比 209%)
 - A 留学生とトモダチ(1回)
 - B 世界がもし 100 人の村だったら(4 回)
 - C 国際人って?～カナダの多文化社会から～(6 回)
 - D 世界とつながる福島(1 回)
 - E これってアリ?～常識と非常識～(7 回)
 - F マグロ獲り(1 回)
 - G 写真で学ぼう、世界の食卓(2 回)
 - H 写真で学ぼう、世界の家族(1 回)
- 内訳

No	月 日	場 所	対 象	人数	講座名	講師名 (敬称略)
1	4月24日	福島大学	大学生	8	C	国際交流員 ケ ビンシャ
2	4月25日	福島大学	大学生	80	H	主任主査 幕田順子

3	5月9日	須賀川桐陽高校	高校教員	30	E	グローバル教育研究会ふくしま 日下部喜美子
4	5月18日	あさか開成高校	高校生	200	C	国際交流員 ケ ビンシヤ
5	6月7日	福島市立野田小学校	小学生	129	C	国際交流員 ケ ビンシヤ
6	6月16日	福島市杉妻公民館	一般	15	C	国際交流員 ケ ビンシヤ
7	6月19日	福島大学	大学生	26	E	主任主査 幕田順子
8	6月20日	伊達市立伊達小学校	小学生	89	E	理事 布田節子
9	6月20日	福島市立岡山小学校	小学生	36	A	国際交流員 ケ ビンシヤ及び留 学生4名
10	6月22日	郡山ビューホテル	高校教員	25	D	専務理事 渡辺幸吉
11	7月7日	いわき市泉公民館	小学生	20	F	理事 布田節子
12	7月11日	本宮市立本宮まゆみ 小学校	小学生	61	G	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
13	7月17日	本宮市立岩根小学校	小学生	42	B	理事 布田節子
14	7月18日	本宮市立糠沢小学校	小学生	40	E	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
15	7月25日	福島市清水学習センタ ー	一般	42	G	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
16	8月1日	福島市信夫学習センタ ー	一般	25	C	国際交流員 ケ ビンシヤ
17	8月2日	福島県青少年会館	高校生	40	E	理事 布田節子
18	9月5日	桑折町公民館	一般	60	E	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
19	9月7日	田村市立船引南中学 校	中学生	48	E	主任主査 幕田順子
20	9月7日	田村市立船引南中学 校	中学生	48	B	理事 布田節子
21	9月25日	本宮市立和田小学校	小学生	40	B	理事 布田節子

22	9月26日	須賀川市大東公民館	一般	35	B	理事 布田節子
23	9月28日	本宮市立本宮第一中学校	中学生	138	C	国際交流員 ケ ビンシヤ

(のべ参加者数 1,277 名)

(2)ふくしまグローバルセミナー2012

主催：福島県国際理解教育ネットワーク（福島県、福島県教育委員会、JICA 二本松、当協会）

日時：平成 24 年 9 月 29 日（土）10:00～30 日（日）10:45

場所：JICA 二本松

参加者：高校生以上の県民等 145 名（うち両日参加者 72 名）

内容：○基調講演「国際協力における民間企業の役割と JICA の取り組み」

講師：JICA 民間連携室次長 柏谷亮 氏

○昼食交流会

○セッション「フェアトレード～そのイロハ～」他（計 10 講座）

○団体活動紹介ブース「ルワンダの教育を考える会」他（計 8 ブース）

○自主セッション「タイ・スタディツアー報告」他（計 11 セッション）

(3)ケビン's ワールドカフェ

毎回留学生や英語指導助手等の外国出身ゲスト 4～5 名を迎え、ゲームなどを取り入れながらテーマに沿った県民との交流会 7 回のうち、4 回を実施した。

回	月日	場所	内容	人数
1	5月12日(土) 13:30～15:00	福島市アクティブシニアセンターAOZ(アオウゼ)	外国人って何だろう？	26
2	6月2日(土) 13:30～15:00	同上	生活習慣の相違&祝日の祝い方	25
3	6月30日(土) 10:30～15:00	同上	カナダ・ディ イベント	16
4	9月1日(土) 13:30～15:00	同上	Mini オリンピック大会	15

(のべ参加人数 82 名)

(4)留学生の国際交流活動の推進

当協会主催事業等様々な機会を捉えて、留学生と地域住民との交流の場を提供した。

回	事業名	内容	人数
1	ケビン'sワールドカフェ	外国人ゲスト	10
2	ふくしま多文化共生サポーター	通訳	3
3	結・ゆい・フェスタ	当協会ブースの運営	2
4	国際理解出張講座「留学生とトモダチ」	外国人ゲスト	4

(のべ参加人数 19名)

2 グローバル社会で活躍する次世代の人材育成

(1)ふくしまユースグローバルカレッジ 2012

概ね 39 歳以下の県内大学生及び社会人を対象に連続 5 回の講座のうち、4 回を実施した。

回	月日	場所	内容	講師（敬称略）	人数
1	6月16日(土) 10:00～17日12:00 (宿泊)	JICA 二本松	世界規模 の課題	布田節子 (ふくしま青年海外協力 隊の会) 坂中澄子 (郡山市立行健小学校) 日下部喜美子 (グローバル教育研究会 ふくしま)	26
2	7月21日(土) 9:30～16:30	当協会	異文化理 解	1回目に同じ	13
3	8月25日(土) 9:30～16:30	当協会	国際協力	西あい (NPO 法人開発教育協会 事務局次長)	7
4	9月29(土)10:00～ 30(日)16:00 (宿泊)	JICA 二本松	ふくしま グローバ ルセミナ ー2012 へ の参加	1回目に同じ	11

(のべ参加人数 57名)

(2)次世代の海外研修への助成

39 歳以下の県内大学生及び社会人が NGO 等または個人で企画する海外研修事業に

参加する際、その研修経費の一部を助成する事業を実施したところ、12件の応募があり下記の通り6人に助成した。

No	氏名	所属団体	研修名(国名)	交付額 (千円)
1	菅野隼人	福島日中文化交流会	中国語・中国文化短期研修プログラム(中国)	60
2	轡田倉満	特定非営利活動法人アール	メディエーションビエンナーレにおけるアートプロジェクト研修及び福島の現状報告(ポーランド)	100
3	高城菜奈子	福島大学	スリランカ ジャフナ スタディツアー～復興に取り組む漁村の人々と触れあう旅～(スリランカ)	60
4	吉田恵	船と翼の会ふくしま	タイ交流プログラム2012スタディツアー(タイ)	100
5	伊藤一輝	福島大学佐野ゼミ	福島大学経済経営学類・海外フィールドワーク実習「東日本大震災と洪水からの復興をタイ人学生と考える」(タイ)	60
6	佐々木望	WESCA	フィリピン セブ学習支援プロジェクト(フィリピン)	60

(合計 440 千円)

Ⅱ 外国出身県民とともに創る活力ある地域づくりの推進

【目標】

外国出身県民が、地域住民として等しく行政サービスが受けられ、地域づくりのパートナーとして活躍できるよう環境の整備を推進する。

【目標指数】

項目	H24(年間)	H24 前半実績(達成率)
外国出身のふくしま多文化共生サポーター活動人数	48	35 (73%)

【事業実績】

1 安全・安心な地域づくりの推進

(1) 多言語による行政サービスの提供

多言語コーディネーター1名と通訳員3名を配置し、中国語と英語は随時、韓国語、タガログ語、ポルトガル語については、毎週水曜日 13:00～17:00（第4・第5水曜日は予約制）に、行政サービス受給や在留資格など外国出身県民に関わる各種問い合わせに対応した。

- 相談件数 230件(前年度同時期比 132%)
- トリオフォン利用件数 4件(前年度同時期比 80%)
- 主な相談内容と出身国

内容 出身国	生活 全般	通訳 翻訳	家族	医療	在留 資格	教育	その 他	合計
中国	36		14	18	26	9	30	133
日本	5	11	1	1	3	9	23	53
フィリピン	1		1		1	1	1	5
アメリカ	7	4	1		1		2	15
その他	8				3	1	12	24
合計	57	15	17	19	34	20	68	230

(2) 多言語による相談

【外国語による地震情報センター】

震災後、福島県国際課と協力して立ち上げた「外国語による地震情報センター」において、継続して福島県の「東日本大震災関連情報」の一部を英語と中国語に翻訳し、県HPにアップし情報提供するとともに、通常の「多言語による相談」業務内で電話やメール等での相談に対応した。

- 相談件数 52件(前年度同時期比 26%)
- 相談言語 中国語(24)、日本語(23)、英語(4)、ポルトガル語(1)

○ 主な相談内容と相談者の出身国

内容 出身国	補償 等経 済的 支援	避難	放射 線	在留 資格	子ど もの 教育	県内 の状 況	仕事	ボラ ンテ ィア	その 他	合計
中国	11	4	2	2	1	1	1		2	24
アメリカ								1		1
カナダ				1				1	1	3
ブラジル	1									1
韓国朝鮮						1				1
不明	1									1
日本						1		1	19	21
合計	13	4	2	3	1	3	1	3	22	52

(3) 帰国・外国出身児童生徒へのサポート

【学校へのサポーターの長期派遣】

来日して間もない帰国・外国出身児童生徒に対して、母語のわかる、または日本語指導ができるサポーターを紹介または派遣して、学校生活への早期適応を図った。

- 件数 5件（前年度同時期比 83%）
- 人数 5名（前年度同時期比 83%）
- 内訳

No	期間（のべ時間）	場所	内容	依頼者	人数
1	5月10日～9月27日(48時間)	福島市立下川崎小学校	中国帰国児童1名への日本語指導および教科通訳	福島市国際交流協会	1
2	5月7日～	福島市立福島第一中学校	中国出身生徒1名への日本語指導	福島市国際交流協会	1
3	5月29日～	福島市立松川小学校	中国帰国児童1名への日本語指導および教科通訳	福島市国際交流協会	1
4	8月27日～	本宮市立糠沢小学校	中国出身児童1名への日本語指導および教科通訳	本宮市教育委員会	1

5	9月18日～	福島市立月輪小学校	中国出身児童1名への日本語指導	福島市国際交流協会	1
---	--------	-----------	-----------------	-----------	---

【特別枠受け入れ県立高等学校巡回相談会】

期間：平成24年7月6日(金)、7月18日(水)、7月24日(火)

場所：光南高校、会津学鳳高校、福島南高校

相談者：中国出身生徒3名、フィリピン出身生徒1名

内容：進路や学校生活等

【外国出身子どもへの支援活動団体への支援】

ふくしま子どもの日本語ネットワーク主催の「外国にルーツを持つ子供たちのための土曜広場」の活動において、会場の便宜供与等のサポートを行った。

(4) 防災訓練等への参加促進

9月第2土曜日の「世界救急法デー」にちなんで日本赤十字社福島県支部と共催で、外国出身県民も参加しやすいよう、通訳付きの救急法講習会を実施した。

日時：平成24年9月8日(土) 13:30～16:00

会場：郡山市総合福祉センター

参加者：36名(内外国出身者14名)

内容：心肺蘇生法、AEDの使い方、温タオルの作り方など

(5) 多言語による生活情報の提供

○発行月：毎月1回

○言語：中国語版として「福島生活」、英語版として「Fukushima Life」

○内容：イベントレポート、生活情報、外国出身者からの投稿記事などの最新情報をWEBで発信した。

2 活力ある地域づくりに参加できる環境整備の推進

(1) ふくしま多文化共生サポーターの活動促進

新しいサポーター制度に基づき登録者を再募集した。

また、外部団体からの依頼内容に応じて適切なサポーターを紹介するとともに、当協会主催事業でも積極的にサポーター活動を取り入れるなどして、その活動のコーディネートを行った。

【登録者数】

○人数 76名(うち外国出身者30名)

○内訳(複数登録あり)

活動分野 居住地	通訳・翻訳					国際理解	合計
	英語	中国語	韓国語	タガログ語	ポルトガル語、スペイン語、タイ語、インドネシア語、ロシア語、フランス語、トンガ語等		
県北	14	12	6	2	7	22	63
県中	12	6	7		3	16	44
県南	1	2		1		2	6
会津	2	2	1		1	1	7
いわき	2				2	1	5
県外	1						1
合計	32	22	14	3	13	42	126

【コーディネート総数】

- 件数 23件（前年度同時期比 121%）
- 人数 42名（前年度同時期比 43%）

【内訳】

[外国出身児童生徒に対する支援]（前述）

- 件数 5件（前年度同時期比 83%）
- 人数 5名（前年度同時期比 83%）

[公的団体等からの依頼]

- 件数 16件（前年度同時期比 160%）
- 人数 33名（前年度同時期比 114%）
- 内訳

No	月日	場所	内容	依頼者	人数
1	4月12日	福島市立飯坂小学校	年4回の国際理解授業講師(エジプト紹介)	福島市立飯坂小学校	4
2	4月27日	会津児童相談所	裁判書類の翻訳(タガログ語)	会津児童相談所	1

3	5月8日	磐梯熱海温泉 ホテル華の湯	中国政府航空当局及び 中国航空会社招へいにか かる歓迎レセプションで の通訳(中国語)	福島県空港 交流課	4
4	5月10日	伊達市役所	総会における講演会 の講師(エジプト紹介)	伊達市国際 交流協会	1
5	5月19日	会津若松市内 各観光地	シンガポールのマス コミ関係者取材での通 訳(英語)	福島県観光 交流局	1
6	5月27日	福島市飯野学 習センター	総会における講演会 の講師(エジプト紹介)	飯野町国際 交流ネット ワーク	1
7	6月6日	当協会	人名の読み方の指導 (韓国語)	福島市国際 交流協会	1
8	6月10～16日	福島大学	被災地視察ツアーにお ける海外参加者への通 訳(英語)	学力の力で 世界とつな がろうプロ ジェクト	1
9	7月9日	福島県立大笹 生養護学校	地球体験キャラバンで の外国人ゲスト(フィ リピンとブラジル紹介)	青年海外協 力隊の会ふ くしま	2
10	7月18日	二本松市岳温 泉樅平ホテル	韓日観光交流の夕べ における通訳(韓国語)	福島県観光 交流局	10
11	7月31日	福島運転免許 センター	免許の切り替えの手 続きに関わる通訳(英 語)	二本松市教 育委員会	1
12	8月10日	当協会	タイ人母親との話し 合いにおける通訳(タイ 語)	会津児童相 談所	1
13	9月18日	当協会	裁判書類の翻訳(タイ 語)	会津児童相 談所	1
14	9月19日	飯坂学習セン ター	高齢者向け講座での 講師(インドネシア紹 介)	飯坂学習セ ンター	1
15	9月24日	郡山市男女協 働参画センタ ー	料理交流会での講師 (ブラジル紹介)	郡山市国際 交流協会	1

16	9月26日	平野ふれあい館	高齢者向け講座での講師（インドネシア紹介）	飯坂学習センター	1
----	-------	---------	-----------------------	----------	---

[当協会主催事業での活用]

○件数 2件(前年度同時期比 75%)

○人数 8名(前年度同時期比 13%)

○内訳

No	期間	場所	内容	人数
1	9月4日	いわき市内	外国出身県民インタビューでの通訳(タガログ語)	1
2	9月8日	郡山市総合福祉センター	世界救急法デーでの通訳(中国語、タガログ語)	7

(2)外国出身県民キーパーソンアカデミー

外国出身県民がより地域で活躍するための5回連続講座のうち、2回を実施した。

回	月日	場所	テーマ	講師（敬称略）	参加者(内外国出身者)
1	9月1日(土) 13:00~16:00	当協会	地域で活躍している外国出身者の話	石田セシリア 後藤キャサリン 佐藤バシヤラット	13 (12)
2	9月15日(土) 13:00~16:00	当協会	知って得する行政サービス	赤石 克(福島市役所)	10 (6)

Ⅲ 多様な関係団体と連携した国際交流活動の推進

【目標】

県、市町村や市町村国際交流協会、日本語教室、国際交流・協力団体など多様な国際交流活動の関係団体との調整・連携を一層強化し、多様な国際交流活動が県内各地で展開できるよう環境を整備していく。

【目標指数】

項目	平成 24 年度 (年間)	平成 24 年度上期 実績(達成率)
外国出身県民にかかわる ものも含めた相談件数	790	420 (53%)
HP トップページ アクセス件数	99,000	35,801 (36%)

【事業実績】**1 人材育成やネットワーク化の推進**

(1) 日本語教室の活動支援

【「母語（外国語）を活用した効果的な日本語の教え方講座」フォローアップ研修会】

日時：平成24年9月15日（土） 9：30～12：00

場所：当協会

講師：外国人の子ども・サポートの会代表 田所希衣子さん、福島大学准教授 中川祐治さん

参加者：12名（うち外国出身者 3名）

内容：実践しての疑問点、参考教材の紹介等

(2) 市町村及び市町村国際交流協会との連携強化

【岩手県・宮城県・福島県三県合同会議 シンポジウム&被災地視察】

○シンポジウム

日時：平成24年7月5日（木）13:00～17:00

場所：ホテル法華クラブ仙台

参加者：全国の自治体国際化協会職員、自治体職員、その他地域の多文化共生の担い手等 約80名（うち福島県内参加者13名）

内容：三県地域国際化協会からの報告、パネルディスカッション、分科会

○被災地視察

日時：平成24年7月6日（金）8:30～16:00

場所：南三陸町

参加者：上記に同じ33名

内容：「南三陸町学びのプログラム」への参加、町内在住台湾出身女性からの話

【中核的市国際交流協会ネットワーク会議】

日時：平成24年9月6日（木）10:00～16:00

場所：当協会

講師：羽賀友信さん（長岡市国際交流センター「地球広場」センター長）

参加者：13名（10市国際交流協会、1市）

内容：講演「震災復興における市国際交流協会の役割」
参加者発表「震災復興関連事業について」
意見・情報交換

【結・ゆい・フェスタへの出展】

主催：福島市国際交流協会

日時：平成24年9月23日（日）10:00～15:00

場所：福島市アクティブシニアセンターAOZ

参加者：一般 800名

内容：当協会事業を紹介するとともに、言葉クイズなどを通じて留学生との交流の場を提供した。

【市町村国際交流協会への訪問】

期間：平成24年6月～8月

訪問先：いわき市、郡山市、会津若松市、会津喜多方市、白河市、二本松市、田村市、伊達市、南相馬市、猪苗代町、会津坂下町、会津美里町にある市町村国際交流協会 計12協会

内容：地域の状況把握、当協会事業への理解と協力依頼

(3) 同国出身者コミュニティのサポート

下記の同国出身コミュニティ等について、関係団体とのネットワークの橋渡しや、様々な情報提供などを行い、その活動をサポートした。※は今年度設立した団体

- Iwaki Filipino Community(フィリピン出身者等)
- エジプト日本友好会（エジプト出身者等）※
- 郡山市中国帰国者交流会（中国帰国者等）
- つばさ～日中ハーフ支援会（中国出身母親とその子等）
- HAWAK KAMAY FUKUSHIMA（フィリピン出身者等）
- 福島華僑華人総会（中国出身者等）
- 福島県中台湾同郷会（台湾出身者等）
- Fu-jet（JETプログラムで来日している英語指導助手や国際交流員等）

2 相談・情報提供

(1) 国際交流等に関わる相談対応

- 相談件数：138件（前年度同時期比 192%）
- 内訳

相談内容	人の紹介	国際理解教育	イベント情報	通訳翻訳	団体運営	日本語関係	留学語学	国際化の現状	協会業務	その他	合計
行政関係	1		2	6					2	3	14
市町村国際交流協会	3		5	1	1				2	2	14
国際交流・協力団体	5	2	2		6			1		1	17
教育関係者	2	7				2			2	1	14
一般	6	7	6	5	1	3	5	2	4	9	48
報道関係者	1							1		2	4
各種団体等	5	4	4	1	3	1			2	4	24
県外	1								1	1	3
合計	24	20	19	13	11	6	5	4	13	23	138

(2) 広報紙「Gyro(ジャイロ)」の発行

- 発行月：平成 24 年 9 月
- 仕様：A4 版 8 ページ、表紙・裏表紙カラー刷り中面 2 色 3,000 部
- 内容：大学の海外留学生や地域で活動する団体の紹介、ブータンの紹介、当協会の主催事業案内と報告など
- 配布先：賛助会員、県内公共施設、市町村国際交流協会、民間団体他

(3) デジタルによる情報提供

IT 専門嘱託員を 1 名配置し、中国語版・英語版ホームページにおける外国出身県民に対する防災情報ページの更新や県内日本語教室情報の多言語化など、国際交流等の各種事業について迅速で効果的な情報提供を行った。

【ホームページの更新】

ホームページの内容の更新やリンク切れの確認など逐次見直しを行うとともに、ホームページでの最新情報の更新を即時に行った。

- トップページアクセス件数 35,801 件（前年度同時期比 83%）

【メールマガジン】

国際交流に関する身近なイベント情報などをメールマガジンで発信した。

- 登録者数：170 名（前年度同時期比 109%）
- 発信回数：11 回（前年度同時期比 110%）

(4) ホームページのリニューアル

10月のリニューアルに向けて、コンテンツや掲載内容の検討、データー入力等の準備を行った。

3 調査研究・提言

(1) 日本語教室活動実態調査

日本語を学びたい外国出身県民や、日本語をボランティアで教えたい県民に対し、日本語教室の最新の活動状況を提供するため、県内の日本語教室の活動状況について実態調査を行った。

なお、その内容は当協会ホームページに掲載した。

- 調査時期 平成 24 年 7 月
- 登録団体 31 団体(休止中 2 団体を含む)

(2) 民間国際交流・協力団体活動実態調査

国際交流・協力活動に参加したい県民に対し、国際交流・協力団体の最新の活動状況を提供するため、各団体の活動状況について実態調査を行った。

なお、その内容は当協会ホームページに掲載した。

- 調査時期 平成 24 年 7 月
- 登録団体 市町村国際交流協会 26 団体
国際交流・協力団体 69 団体

(3) 外国出身県民震災実態調査

今後の有事の際の対応等に繋げるため、外国出身県民の震災当時及びその後の状況について調査中である。

- 対象 震災当時福島県内に居住していた外国出身県民 28 名(目標達成率 28%)
- 方法 面談によるインタビューと書面アンケート

4 協働事業の推進

(1) 国際交流・協力団体 復興活動への助成

福島県内に拠点を有し活動する非営利団体 5 団体の 5 事業に対し、下記のとおり助成金を交付し、福島の復興の一助とした。

No	団体名	活動名	交付額 (千円)
1	特定非営利活動法人ふくかんねっと	福島県復興支援ボランティアによる国内外向け情報発信事業	100
2	ふくしま子どもの日本語ネットワーク	2012年度 外国にルーツを持つ子どもたちの「秋の大交流会」 in 米沢	100
3	船と翼の会ふくしま	国際理解キャラバン隊～ワークショップ教材作成とその実践～	100
4	福島県日中友好協会	福島復興！日中友好交流の集い	100
5	NPO法人ルワンダの教育を考える会	仮設住宅への「ルワンダカフェ」サービス	50

(合計 450 千円)

IV 世界に向けた福島の発信

【目標】

福島県の復興の様子をありのままに発信する。

【事業実績】

1 情報の発信

(1) 震災復興版ジャイロ『がんばろう福島』の発行

福島県に暮らす外国出身者や福島県にゆかりのある県外国外在住外国人に向けて、不必要な不安を取り除き、また、国内、海外からの福島に対する風評被害を抑えるため、国内外に向けて福島の復興が進む現状を多言語で発信した。

【ホームページ上での掲載】

- 発行期間 4月～9月の月1回ブログ発信
- 言語 日本語、英語、中国語、韓国語、フランス語、タガログ語、ポルトガル語の7か国語
- 内容 福島風景写真、福島に暮らす外国出身者からのコメント他

【紙媒体】

①カラーコピー版

- 発行月 平成24年7月
- 発行部数 日本語 200部程度
- 仕様 A4版 4ページ 両面カラー刷り
- 内容 平成24年4月～6月にかけての内容のダイジェスト版

②印刷版

- 発行月 平成24年8月
- 発行部数 日本語2,000部 英語1,000部 中国語1,000部
- 仕様 A4版 2ページ 両面カラー刷り
- 内容 福島風景写真、福島に暮らす外国出身者からのコメント、福島県の被災状況他
- 配布先 賛助会員、県内公共施設、市町村国際交流協会、民間団体他

V その他

1 関係機関への講師派遣等

関係機関主催事業に対し講師等として、当協会職員を派遣協力した。

月日	主催者	事業名	役職員名
平成24年7月5日	岩手県・宮城県・福島県の各地域国際化協会	シンポジウム&被災地視察	国際交流員 ケビンシャ
平成24年8月12日	しまね国際交流センター	災害ボランティア研修会	主任主査 幕田順子
平成24年8月23日	福島高校	台湾高校生との交流会	国際交流員 ケビンシャ

平成 24 年 9 月 12 日	福島県高等学校国際理解教育研究協議会	第 25 回高校生による国際理解のための弁論大会	専務理事 渡辺幸吉
平成 24 年 9 月 29 日	福島県国際理解教育ネットワーク	ふくしまグローバルセミナー2012	国際交流員 ケビンシャ

2 東日本大震災・原発事故被災地視察団への支援

【日米協会教員研修ツアー(福島視察)】

主催：日米協会

月日：平成 24 年 7 月 18 日（水）～19 日（木）（1泊2日）

参加者：アメリカ国内の小中高等学校教員 4 名、日米協会教育部長 1 名

視察先：福島市内果樹農家、みなと保育園(相馬市)、原釜漁港、南相馬市、飯館村

3 関係機関誌等への寄稿

関係団体の機関誌等に原稿寄稿の協力をした。

機関誌名	発行者	記事名	役職員名
自治体国際化フォーラム 273 号	(財)自治体国際化協会	東日本大震災における外国人支援活動とその後の取り組み	専務理事 渡辺幸吉

4 インターンシップの受け入れ等の協力

(1) 中学生ドリームアップ事業(ジュニアインターンシップ)

期間：平成 24 年 7 月 10 日(火)～13 日(金)(4日間)

インターン生：福島市内の中学 2 年生 1 名

内容：当協会事務所内での仕事の体験、通訳員へのインタビュー他

(2) 福島大学インターン生

期間：平成 24 年 9 月 20 日(木)～21 日(金)(2日間)

インターン生：福島大学 3 年生 1 名

内容：当協会事務所内での仕事の体験、市内の日本語教室視察他